

9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが **28** 2021年5月10日

9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikennen.com ☎03-3221-4668

◆発議反対署名の国会提出 5月19日に

- 「9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」などの国会提出は、5月19日(水)の国会行動（18時30分～衆議院第2議員会館前）で行います。
- 署名行動を強め、また手持ちの署名は国会提出に向け、急ぎ送付、集中を！

◇衆院憲法審査会の「改憲手続き法改定案」可決に抗議！菅首相が旗振る改憲策動許さない！市民と野党の共同さらに強めよう！

(総がかり行動実行委員会アピール「『改憲手続法』採決に抗議し、憲法守れと5月19日に声をあげよう」一巻末に収録、ホームページからダウンロードできます。)

19日行動—各地草の根で、国会前で声をあげよう

◇コロナ禍のもと、続けられている工夫と努力、困難を超えた市民運動で、憲法破壊・改憲執念、戦争する国づくり猛進阻止！総選挙に向け菅政権が最も恐れる市民と野党の共同、野党の共闘を激励・推進を！

各地の取り組み—5・3 憲法記念日の行動から《1》

東京 変えよう政権 憲法守ろう 国会前で大行動、オンラインで連帯

国会正門前で「5・3憲法大行動」が開かれました。参加した市民は、「変えよう政治！いのちを守り 平和をつくろう」「とりもどそう！民主主義 立憲主義」のプラカードを掲げ、コロナ禍のもと、菅政権による憲法破壊を許さず、反憲法の菅政権を退陣させ、憲法が生きる日本社会をなどとする立憲野党の代表のあいさつ、各界・分野代表のスピーチを共有し、改憲のための国民投票法改定案に反対し、コロナ禍で憲法を守り生かす政治への転換をと決意を固めあいました。行動の様子は動画投稿サイト Youtube で配信されました。

開会あいさつは九条の会事務局長の小森陽一さん。枝野幸男立憲民主党代表、志位和夫日本共産党委員長、福島瑞穂社民党党首、伊波洋一沖縄の風幹事長がスピーチしました。山本太郎れいわ新選組代表のメッセージが紹介されました。

作家・活動家の雨宮処凛さん、神奈川大学教授・元日本学術会議会員羽場久美子さん、日本体育大学教授・憲法学の清水雅彦さん、江戸文化研究者・法政大学前総長の田中優子さんがスピーチ、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合から呼びかけ人・法政大学教授の山口二郎さんが訴えました。

大行動は松村真澄さん（ピースボート）の司会で進められ、菱山南帆子さん（総がかり行動実行委員会）が行動提起をしました。

東京 九条の会がアピール 「今こそ市民が声をあげるとき 憲法 9 条破壊の新たな段階に立ち向かおう」を発売

九条の会は5月3日、アピールを発売しました。全文は以下のとおりです。（九条の会ホームページからダウンロードできます。）

アピール 今こそ市民が声をあげるとき 憲法9条破壊の新たな段階に立ち向かおう

戦争への痛切な反省の上になんて1946年11月に公布された日本国憲法は、この5月3日で施行74年を迎えました。前文で「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのない」ようにと決意して9条を定めたこの憲法を敵視し、改憲策動を続けてきた安倍晋三政権は、昨年退陣しましたが、後を継いだ菅義偉政権も憲法破壊の政治を一層進めようとしています。

バイデン米政権発足後初となる4月16日の日米首脳会談での共同声明は、日米同盟を「インド太平洋地域、そして世界全体の平和と安全の礎」であるとし、両国の軍事同盟が広大な地域を対象とすると宣言しました。

とりわけ重大なのは、声明が「台湾海峡の平和と安定の重要性を強調」して、台湾有事に際しての米軍の軍事行動に対し武力行使を含めた日本の加担を約束したことです。声明は中国との軍事対決を念頭に、日本の防衛力の増強、辺野古や馬毛島での基地建設の推進をも盛り込んでいます。日米軍事同盟強化と憲法9条破壊は新たな段階に入りしました。

声明は、こうした軍事同盟の強化を、中国による東シナ海や南シナ海での覇権的行動の抑止を理由にしています。しかし、これに日米軍事同盟の強化で対抗することは、米中の軍事的緊張を高め、日本を巻き込んだ戦争の危険を呼び込むものです。憲法9条の精神のもと、国際法に基づく道理を尽くした平和的な外交交渉で問題打開の道を開く（ひら）くべきです。

今まさに、日本国憲法の価値を再認識すべき時です。全世界の人々がコロナ禍で苦しむ中、軍備の拡大や戦争に明け暮れていることは許されません。憲法前文の「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」との理念は、コロナ禍に苛（さいな）まれる人々の命とくらしを守る政治を実現する上で大切な柱です。

九条の会も加わる「安倍9条改憲NO！ 全国市民アクション」の運動や市民と野党の共同した取り組みは、安倍前首相率いる9条改憲を阻止してきました。2019年の参院選では改憲派による3分の2の議席の獲得を許さず、2018年に自民党改憲推進本部が作成した改憲案の国会での提示や議論も押しとどめ、安倍政権を退陣に追い込みました。憲法施行後間もなくから始まった明文改憲の企てを、二度と侵略と暗黒の政治を許さないとの固い決意のもとに国民は74年にわたって阻止し続けています。

ところが、菅政権は、一方で改憲案の国会での審議をすすめるながら、「敵基地攻撃能力」の保有、日米共同声明により、憲法破壊を実質的に押し進めています。

今こそ、改めて、市民が声をあげるときです。菅改憲NO！の声を、地域草の根から、あげましょう。コロナ禍の中、工夫を凝らしてさまざまに行動を広げ、改憲発議阻止の署名を集めましょう。野党共闘が成果を上げています。市民の力で、来る総選挙では改憲反対勢力を大きくし改憲を断念に追い込みましょう。

2021年5月3日
九条の会

北海道 9条改憲最終目標の勢力を市民の監視と運動で包囲を 北海道

戦争をさせない北海道委員会は5月3日、オンラインで「改憲NO！戦争させない憲法施行74周年北海道集会」を開きました。

講演した中野晃一上智大学教授は「前政権から続く政治腐敗で、政治には何も期待しないというあきらめが市民の間に浸透しているが、憲法9条改正を最終目的とする改憲派に對抗するには市民が政治を監視することが大切だ。暮らしと憲法を壊す菅政権を倒して政権交代を、北海道がけん引してほしい」と訴えました。

北海道平和運動フォーラム代表の江本秀春弁護士が主催者あいさつ、北海道憲法共同センター共同代表の三上友衛道労連議長が閉会あいさつを述べました。

北海道 戦争法・安保法制は廃止を スタンディング宣伝 岩見沢市

5月3日、岩見沢市の「戦争法廃止をめざす岩見沢の会」が市内で、「改憲は許さない」、「日本政府は核兵器禁止条約を批准せよ」、「病床削減、75歳以上の窓口負担2倍化反対」などのプラカードを掲げ、スタンディング宣伝を行いました。

行動には26人が参加しました。

秋田 イージス反対の経験生かし、憲法を守り生かそう 秋田市

「第42回平和憲法を守る県民集会」が5月3日、秋田市で開催されました。主催は憲法改憲反対秋田県センター。150人が参加しました。

集会では、虻川高範代表・弁護士が安倍・菅両政権の改憲策動の現状とたたかひの課題

を報告、草薨芳明秋田県保険医協会会長、萩谷由紀子新日本婦人の会県本部副会長、高坂昭一元イー・アショアを考える勝平の会共同代表、渡部雅子県原水協事務局長らが、コロナ危機問題などそれぞれが直面する問題について憲法にふれながら発言しました。

集会では、陸上イー・アショア反対のたたかい、参院選での野党共闘勝利の経験を通じ、「声をあげれば政治は変えられる」を確信に、憲法を守り、生かす運動を広げること、総選挙で菅政権に審判を下し、市民と野党の共同で新しい政権をつくろう、とのアピールを採択しました。

岩手 命・貧困の格差、憲法でただそう 各党からメッセージ 盛岡市

「5・3憲法集会 in いわて」が5月3日、盛岡市の岩手教育会館で開かれました。150人が参加し、アピールを採択。集会後には市中心部をパレードしました。

集会には、達増拓也県知事、立憲民主党県連、日本共産党県委員会、社民党県連合からメッセージが寄せられました。集会では、岩手大学教育学部の麦倉哲・特命教授が「命の格差を縮められるか？ 犠牲と不幸をなくすために憲法は生まれた」と題して講演。憲法25条と13条にもとづく生存権や幸福追求権について述べ、貧困や格差の拡大を「自己責任」とする風潮を指摘しました。さらに、東日本大震災の被災者の調査で、「暮らしが厳しくなった」と答えた人が半数以上にのぼったことを紹介し、「戦争や災害で犠牲になった人のことを忘れてはいけない。命の格差と向き合い、すべての人が幸福に生きられる日本を取り戻そう」と呼びかけました。

宮城 「平和大国」の自覚で北東アジアの諸問題に立ち向かう 仙台市

「憲法を活かす県民集会」が5月3日、仙台市の国際センターで開かれました。リモートとの併用で行われた集会には、合わせて310人が参加しました。

集会では国際政治学者の浅井基文さんが「21世紀国際社会・北東アジアの課題と日本の役割」を講演。バイデン米政権が自国の利益を世界に押し付ける姿勢は前政権と変わっておらず、それに付き従う菅政権との決別が必要と述べ、日本は憲法9条を持つ「平和大国」との自覚で北東アジアの紛争の平和解決に役割を果たすべき、と強調しました。

集会では「憲法の理念を活かした共生社会実現をめざそう」とのアピールを採択しました。

千葉 個人の尊厳守る憲法、緊急事態条項の危険訴え 松戸市

「松戸憲法記念日の集い」が5月3日、千葉県松戸市で開かれました。新型コロナウイルス感染防止のために2部制で行われ、延べ450人が参加しました。

集会では、東京新聞の望月衣塑子記者が講演、「憲法は、権力者が個人の自由や尊厳を奪うことに抵抗するためにある」と述べました。また、与党が改憲手続法改正案を連休明けにも採決しようとしていることに触れ、「全体の利益のために個人の権利を抑制してしまう緊急事態条項の創設は危険」と指摘しました。

千葉 憲法記念日アピール行動 改憲反対署名訴え 千葉市

JR千葉駅前5月3日、「5・3憲法記念日アピール行動」として、憲法9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」が呼びかけられました。取り組んだのは憲法千葉県共同センター。

「コロナ対策は憲法を生かして」などの横断幕、「ジェンダー平等へ一緒に声を」、「医療費2倍化は憲法25条違反」などのプラカードを掲げリレートークで訴えました。

署名に応じた市民も「コロナ禍に乗じて憲法を変えようとしている。特に9条だけは絶対にかえてはならない」と語っていました。

茨城 子や孫に誇れる日本を私たちの手で フェスティバル 水戸市

水戸市で5月3日、「憲法フェスティバル2021」が開かれました。主催は同フェスティバル実行委員会。300人が参加しました。

国際ジャーナリスト・九条の会世話人の伊藤千尋さんが講演。「憲法は守るとともに使うもの」「9条を持ち平和国家として日本が憲法を生かして世界に平和を広げる第一線に」と強調しました。またベルリンの壁崩壊の50万人デモのきっかけとなったのは旧東ドイツのライプツイヒでの5人の青年によるプラカードデモだったことを紹介。日本が世界の平和の先頭に立つことで子や孫に誇れる、そんな国を私たちの手で作ろうと呼びかけました。

埼玉 市民・団体が力合わせ「憲法9条の碑」建立・除幕 春日部市

埼玉県春日部市民らが市内の小淵山観音院の境内に「春日部憲法9条の碑」を建立し、5月3日除幕式を行いました。除幕式には市民100人が参加しました。

碑は、第9条をかたどった淡いピンク色の「平和の礎（いしづみ）」とともに、台座の上に設置され、台座を含め高さ1・8メートル。憲法前文と第9条の条文が刻まれています。

戦争法（安保法制）に危機感を持った市民らが2020年1月に準備を開始、434人の個人と30の団体から予想以上の募金365万円が寄せられました。

埼玉 共同の街頭宣伝 所沢市

5月3日、埼玉県所沢市で共同の街頭宣伝が行われました。所沢駅前で行ったのは「守ろう憲法・オール所沢連絡会」、「野党共闘8区の会」、「所沢革新懇」。

「憲法9条は世界の宝」などの横断幕やプラカードを掲げ、参加者10人が憲法前文を朗読するなど憲法への思いを語り、憲法を守ろうと訴えました。

神奈川 2年ぶりの県民のつどい 人権保障後退の菅改憲を糾弾 横浜市

憲法改悪阻止神奈川県連絡会議（神奈川憲法会議）が、横浜市神奈川区で、28回目の「5・3県民のつどい」を2年ぶりに開催しました。1993年から続けてきたつどいをコロナ禍で昨年は断念。今回は定数を50人に制限し、オンラインでも配信して開催しました。

つどいでは、上脇博之神戸学院大学教授がリモートで講演。「国政を私物化した加計・森友問題の背景にあるのは、教育への政府の介入を『合憲』にする改憲草案」と指摘、憲法が禁じる集団的自衛権の行使容認に転じた安保関連法などを批判しました。コロナ禍の下にもかかわらず、菅政権が改憲に道を開く国民投票法改正案の審議を急いでおり、「戦争ができる憲法は人権保障も後退させる。積極的に戦争ができる自衛隊にしてはならない」と訴えました。

小賀坂徹弁護士が、参院で審議中のデジタル改革関連法案の狙いと問題点について講演、廃案にと呼びかけました。

山梨 憲法空洞化の政権は打倒を！ 甲府市

「戦争させない・9条壊すな！山梨行動実行委員会」は5月3日、「施行74年いいね！憲法山梨集会」をJR甲府駅北口広場で開催しました。集会には200人が参加しました。

主催者あいさつで椎名慎太郎共同代表は、「憲法を空洞化する政権を打倒しよう」と呼びかけました。南松拓真県弁護士会憲法委員会事務局長は、「コロナ禍でこそ生存権や平等権が生かされなければならない」と強調しました。

小沢雅仁立憲民主党県連代表、花田仁日本共産党県委員長ら県内4党1会派の代表が発言しました。立憲民主党の宮沢由佳参院議員があいさつし、中島克仁衆院議員がメッセージを寄せました。

長野 世界史を先導する9条の役割確認 憲法集会 松本市

「新型コロナと憲法—『自由と制限』を考える」をテーマにした憲法集会が5月3日、長野県松本市花時計公園で開かれ、250人の市民が参加しました。主催は「本気でとめる戦争！中信市民連合」。集会後、松本駅前までデモ行進、「生かそう平和憲法」「憲法9条は

世界遺産」などプラカードなどを持ち、沿道の市民に憲法を守ろうと訴えました。

集会には政党から、4月25日の参院補欠選挙で市民と野党の共同で勝利した羽田次郎立憲民主党参院議員の他、下条みつ立憲民主党衆院議員、武田良介日本共産党参院議員、中川博司社民党県議、八木聡緑の党長野共同代表が参加しあいさつしました。

中信市民連合の又坂常人、松元猛の両共同代表、安藤雅樹弁護士があいさつ、コロナ禍に乗じた改憲のうねりの加速の危険、緊急事態条項の創設が国民や人権を縛ることになること、医療体制の危機状態が一番の問題で、これを整えるのが公権力のやるべき仕事、私権制限をやっている場合ではないことなどを告発しました。

ゲストの宇宙物理学者・池内了名古屋大名誉教授は、「全体として世界は戦争を放棄しようという大きな歴史の流れの中にある」とし、国の交戦権を認めない日本国憲法第9条は、「国連憲章前文をさらに一歩進めたもので、世界史を先導する役割を果たしてきた」と指摘しました。また、新型コロナ対策の緊急事態宣言について、「仕方ないという空気が市民の間に広がることを危惧している」と、私権制限につながりかねない危うさを語りました。

長野 コロナにつけこむ緊急事態条項はやめよ

諏訪市

諏訪地方の団体や個人でつくる「諏訪地方憲法集会」実行委員会が5月3日、諏訪市で「諏訪地方憲法フェスティバル」を開きました。

日弁連憲法問題対策本部副本部長で弁護士の伊藤真さんが「国民を守るのは軍隊なのか」と題し、オンラインで講演しました。主催者は、自民党などが強調している憲法に緊急事態条項を加える改憲論は、国民の主権制限を明文化するもので、「コロナを何とかして、という国民の願いにつけ込む憲法改悪であり、やめるべき」と指摘しました。

新潟 「女性たちのアクション」に80人

新潟市

「憲法記念日女性たちのアクション」が5月3日、新潟市万代橋のたもとで取り組みました。呼びかけはナイン新潟、新日本婦人の会新潟県本部など5団体と個人。

80人が参加し、「いいね憲法9条」「ジェンダー平等」などの横断幕やプラカードを掲げスタンディング行動を実施しました。

参加した人たちは、「戦争加害の反省からつくられた憲法9条は決して変えてはならない」、「沖縄県民の思いを踏みにじる新基地建設や外国人労働者の権利侵害など憲法が生かされていないところに憲法を生かそう」、「新発田兵営の近所に住んでいて、日常的に若い兵隊さんの苦しみや悲しみを語っていた姿が忘れられない。戦争や軍隊は絶対にダメ」などと語りました。

石川 違憲違法の任命拒否許さない！ 岡田早大教授が講演

金沢市

5月3日、金沢市金沢歌劇座で「憲法改悪NO！市民アクション・いしかわ」が主催して、憲法施行74周年を記念する集会が開催されました。

オープニングでは石川9条おんがく隊」が平和の歌声を響かせ、主催者あいさつを五十嵐正博金沢大学名誉教授が行いました。

集会では、岡田正則早稲田大学教授が、「日本国憲法の現状とこれから」と題してオンラインで講演しました。岡田教授は日本学術会議会員として菅首相から任命されなかった一人でもあり、菅首相による学術会議会員任命拒否の違憲性と違法性について、憲法と学術会議法に照らして解明しました。

佐藤正幸日本共産党県議、森本芳久社民党県議が来賓あいさつを行い、近藤和也立憲民主党衆院議員がメッセージを寄せました。

集会には300人が参加し、集会後商店街をデモ行進し、沿道にアピールしました。

富山 大阪維新の会＝新自由主義の権化、コロナ禍で浮き彫り

富山市

日本国憲法施行74周年記念講演会が5月2日、富山市で開催されました。「日本国憲法を守る富山の会」と「富山県平和運動センター」の共催によるもので、100人が参加しました。

青島明生富山の会代表・弁護士が開会あいさつで「毎年講演会を重ねてきたが、ここで新しい政治の展望を語る講演会を開くことができた」と述べました。

「コロナ禍と世界の変化―改憲阻止と野党連合政権の展望」と題した講演を富田宏治関西学院大学教授が行いました。富田教授は、コロナ禍で明らかになった格差と貧困の進行、医療体制の崩壊を招いた新自由主義の権化としての大阪維新の会の悪政を告発しました。憲法の条文を示して、コロナ禍で憲法の価値がこれまで以上に輝いており、それを变えるなどをもっての他で、総選挙に向け市民と野党の共同で展望を示せば多くの共感が得られる、と語りました。

福井 コロナ対策にこそ力を、改憲など言っている場合か 福井市

「戦争する国づくり反対！福井総がかりアクション」は5月3日、福井市内で宣伝行動を取り組みました。

同会の屋敷紘美代表らは、日本国憲法が長い歴史の中で培われ、積み上げられてきた平和主義や人権、国民主権などの普遍的価値を条文化した世界に冠たる憲法、とその意義を強調し、自民党は戦前の大日本帝国憲法に戻す「憲法改正」を党是としていると批判しました。また、いま国民が最も苦しんでいるのはコロナ感染問題であり、先進国で最下位となっているPCR検査を大規模に増やすことやオリンピックは中止することなど、真剣に取り組むべきことを訴えました。

コロナ感染拡大のさなかでも改憲策動を強める菅政権と自民・公明与党などの動きをね返し、憲法を守り生かそうと呼びかけました。

静岡 コロナで社会の脆弱性露わ 今こそ生活保護に光を 静岡市

「憲法を考える市民のつどい」が5月3日、静岡市で開催され、120人が参加しました。

開会あいさつで菊池仁県評議長は、「コロナを口実に緊急事態条項を盛り込む改憲論は人権を制限するもの、感染対策の不十分さこそ問題」と菅政権、改憲勢力を批判、力合わせ改憲を阻止しようと呼びかけました。

講演した笹沼弘志静岡大学教授は、コロナ禍で鮮明になった日本社会の脆弱性のあらわれとして、国がホームレス調査が不十分なまま特別給付金が支給されないままになっていることを示しました。あわせて生活保護の意義についても強調、保護基準引き下げ違憲判決も述べ、今後の闘いの展望を呼びかけました。

愛知 あいち総がかりがデモ 3国政選挙全勝を力に 名古屋市

「憲法を暮らしと政治にいかす 改憲NO！あいち総がかり行動」は5月3日、名古屋市でデモ行進を行いました。行進には200人が参加しました。

デモの出発集会で山内一征あいち九条の会代表世話人・医師は、北海道、長野、広島の前3国政選挙では自民党の政治責任が追及され、野党が勝利した。市民と野党の共闘こそが勝利の要因、さらに発展させようと訴えました。

愛知 水島朝穂早大教授と松元ヒロさんのコラボに拍手 名古屋市

名古屋市昭和区の市公会堂で5月3日、「憲法施行74周年記念市民のつどい～憲法くんがやってくる」が開かれました。56回目となる今回の取り組みはオンラインでも配信され、合計で約850人が参加しました。主催は愛知憲法会議。

つどいの第一部では水島朝穂早稲田大学法学学術院教授が講演。同教授は、憲法は権力を担う人が守るべき規範だと強調し、改憲の議論には「改正しようとする側に高い説明責任が課される。憲法が現実合わないなら現実を変える議論をするべきだ」と強調しました。公衆衛生上の義務を定めた憲法25条の2項について、感染症対策が国がはたすべき重要な義務の一つであることを指摘、ワクチン接種の予約段階で混乱が生じさせているようなコロナ対策の国の対応は25条違反であると批判しました。

井口浩治県弁護士会会長が連帯と激励のあいさつを行いました。

二部では松元ヒロさんが登場、水島教授らと制作した憲法を擬人化した「憲法くん」や、辛口の政治ネタのコントを披露し、会場を沸かせました。

岐阜 核兵器禁止条約発効、世界が日本国憲法に近づく 岐阜

5月3日、「憲法施行74周年記念岐阜講演会」が岐阜市で行われ、オンライン視聴者含め100人以上が参加しました。主催は岐阜県憲法会議と憲法岐阜県共同センター。

近藤真憲法会議代表・岐阜大学名誉教の主催者あいさつの後、富田宏治関西学院大学教授が講演しました。

演題は「憲法9条と核兵器禁止条約」。コロナ禍による世界の変化と核兵器廃絶の展望を解明し、示しました。世界が日本国憲法の方向に近づいており、憲法前文、9条、13条、25条が根幹であり、市民社会の力を結集して逆流を乗り越えよう、と訴えました。

三重 「9条をみんなで守ろう」94歳の呼びかけ人も訴え 松阪市

「松阪九条の会」は5月3日、JR松阪駅前など市内4か所をめぐる、改憲反対の街頭宣伝を行いました。行動には10人が参加しました。

呼びかけ人代表で、94歳になる元県議の大平誠さんも、世界各地で戦争や暴動が起こる中、日本が平和なのは憲法9条があるからだとして「日本の宝・憲法9条を皆さんと守っていきたい」と訴えました。

同会は6月19日、同市産業振興センターで、同市出身の岡野八代同志社大教授の講演会「戦争とジェンダー」と総会を予定しています。

滋賀 立憲野党各党があいさつ、半田滋さんの講演 大津市

「安倍9条改憲NO！市民アクション滋賀」は5月3日、「9条改憲を許さない県民集会」を大津市で開きました。10回目となるこの集会には150人が参加しました。

立憲野党から、佐口佳恵立憲民主党県議、石黒良治日本共産党県委員長、小坂淑子社民党県連代表、沢井清新社会党県本部準備会副代表がスピーチしました。斎藤アレックス国民民主党県連代表、嘉田由紀子参院議員・碧水会からはメッセージが寄せられました。

集会では、ジャーナリストの半田滋さんが「敵基地攻撃と日米一体化一踏み越える専守防衛」と題して講演しました。

京都 菅政権は憲法無視 任命拒否問題とコロナ対策は同根 京都市

「生かそう憲法 守ろう9条 5・3憲法集会 in 京都」が5月3日、京都市左京区の京都教育文化センターで開かれました。無観客でオンライン集会として実施しました。ライブ中継され、600人が視聴しました。主催は「憲法9条京都の会」と「安倍9条改憲NO！全国市民アクション京都」。

集会では松宮孝明立命館大学大学院教授が講演しました。同教授は日本学術会議の会員候補に選ばれながら、菅義偉首相に任命を拒まれた学者6人のうちの1人。松宮教授は「専門家の軽視や耳の痛い話を聞かない態度、菅政権でコロナ対策が後手後手になっていることと任命拒否問題は同根だ」と憲法をないがしろにする菅政権を批判。任命拒否について政府が、憲法15条をひいて正当性を主張している点について、「憲法15条を『全権委任法』にしてしまうようなもの。思想・良心の自由だけでなく学問の自由を侵害することになる」と指摘しました。

立憲民主党、日本共産党、社民党、新社会党、緑の党が連帯メッセージを寄せました。

集会では改憲発議反対署名の取り組みを呼びかけるなどの内容の「アピール」が確認され、配信されました。

大阪 おおさか総がかりがオンライン集会 大阪

「輝け憲法！平和といのちと人権を！5・3おおさか総がかり集会」が開かれました。集会はYoutubeでライブ配信されました。主催は「おおさか総がかり行動実行委員会」。

MIC SUN LIFE（マイク・サン・ライフ）のミニコンサートで開会した集会は、丹羽徹大阪憲法会議幹事長の主催者あいさつに続き、立憲民主党の辻元清美衆院議員（ビデオレター）、日本共産党の清水ただし衆院議員、社民党の大椿裕子副党首、れいわ新選組の大石あきこ氏が連帯あいさつしました。

各分野から4人がリレートークしました。

同集会は、当初扇町公園でリアル集会が予定されていましたが、コロナのまん延に伴い、開催形態を変更したものです。

和歌山 「特別な3日」に41人でスタンディング 有田川町

5月3日、「憲法9条を守る有田共同センター」は和歌山県有田川町で宣伝を行いました。同センターは毎月3日にスタンディング宣伝を行っていますが、憲法記念日のこの日は「特別な3日」で、参加者41人と規模大きく取り組みました。

地域の各九条の会や有田地区労などから参加した人たちは、有田町役場下の交差点で宣伝、フィジカルディスタンスをとり、マイク宣伝なしの行動でした。ツーリング中のバイクのライダーが手を振って激励してくれました。

鳥取 「平和と民主主義を考える市民連続講座」開幕 鳥取市

「平和と民主主義を考える連続市民講座」の第1回講座が5月3日、鳥取医療生協レインボーセンターで行われました。講座の実行委員長でもある藤田安一鳥取大名譽教授が「戦争違法化の世界的流れと日本国憲法」を講演。市民40人が参加しました。

藤田氏は、戦争をなくそうとする世界の流れとパリ不戦条約の限界を説明、日本国憲法について、自衛戦争を認めておらず、「自衛戦争は侵略戦争になっていく」とし、「あらゆる戦争の廃止を目指している日本国憲法の価値は高い」と述べました。

同講座は、講座実行委員会と鳥取市9条の会が主催し、全3回。次回は6月12日、テーマは「文化と政治アラカルト」。最終回は7月17日、「アイヌ民族の歴史と文化・今後の課題」、「ハンセン病問題にかかわって」の2テーマでの講座を予定しています。

山口 講演「"わきまえない、人々と憲法" 山口市

「憲法を守る山口集会」が5月3日、山口市の市民会館で開催されました。集会には120人が参加しました。県教職員組合などによる実行委員会と「憲法を活(い)かす市民の会・やまぐち」の共催。

集会では松原幸恵山口大学准教授（憲法学）が「"わきまえない、人々と憲法"と題し講演しました。

山口 憲法25条がくらしといのちを守る砦 岩国市

岩国市で活動する九条の会岩国は5月3日、シンポジウムを開きました。テーマは「コロナ禍から見えてきた諸問題」。

元看護師で山口生活と健康を守る会会長の中村鈴枝さんと瀬戸内海の静かな環境を守る住民ネットワーク顧問の久米慶典さんが講演し、参加した30人と意見交換しました。

シンポでは「憲法は、生活と生命を守る砦、理念追求の先にこそ安心・安全の市民生活が保障される」とコロナ禍の下で憲法25条に注目したアピールが採択されました。

香川 前川喜平氏が憲法の意義を講演 高松市

「平和憲法を生かす香川県民の会」は5月3日、高松市で講演会を開催しました。同会は超党派、市民団体で構成し、毎年講演会などを開催し続けています。

講演は前川喜平元文部科学省事務次官。同氏は憲法前文や条文をひいて、日本国憲法の立憲主義や世界に通用する普遍性を紹介、集団的自衛権行使容認の閣議決定、共謀罪法の成立などを批判しました。

香川 講演とコンサート 多度津町

「九条の会・多度津」は5月3日、多度津町で講演とコンサートを取り組みました。講演は齋場和彦徳島大学教授。

愛媛 菅政権「総とっかえ」を 151 か所のライブ視聴 松山市

5月3日松山市で、「2021 5・3愛媛憲法集会」が開かれました。「活かそう日本国憲法！」をスローガンに広範な団体や個人で構成する実行委員会が主催。昨年はコロナで中止しましたが、今回は130人が参加したりアル集会とライブ配信を併用して実施、151か所で視聴されました。

開会あいさつで立川百代代表委員が、国民の命や暮らし、憲法さえないがしろにする政治を「総とっかえしよう」と呼びかけました。

八法亭みややっこさん（飯田美弥子弁護士）が、「笑いと希望の憲法嘶」の演題で記念口演。立憲主義、平和主義で個人の尊厳を支える日本国憲法の先駆性を語りました。

野党統一の永江孝子参院議員があいさつしました。

高知 「危機あおる政治家の言葉に注意」安田菜津紀さんが講演 高知

高知憲法アクションなど10団体が主催する「県民のつどい」が、5月3日開催されました。オンラインによるフォトジャーナリストの安田菜津紀さんの講演を県内4か所に設けた会場で視聴しました。そのうち高知市丸ノ内の高知城ホールでは約140人が集まり視聴しました。

安田さんは、「危機をあおる時の政治家の言葉ほど注意深くならなくてはならない」とコロナ禍に乗じた改憲論議を批判、「憲法の理念をねじ曲げられないように踏ん張りを利かせることが大切」、「平和や人権が足元で守られているかと常に検証しないといけない」とも強調しました。取材を通じて明らかになった日本の入管制度の問題点を述べ、今国会で審議中の入管法改正案が「人権侵害を加速する内容になっている」と指摘しました。

集会はリモートも含め200人を超える人びとが参加しました。

福岡 生きること「自粛」なし 北九州市

5月3日北九州市で、「生きること『自粛』なし」をテーマに「5・3憲法集会」（同集会実行委員会主催）が開かれました。250人が参加しました。

集会ではコロナ禍のもとでの生存権をテーマにした講演が行われました。講師は、困窮する当事者や、ホームレスなどの支援に携わるNPO法人抱樸（ほうぼく）（八幡東区）の奥田知志理事長・牧師。奥田理事長は、3500人以上のホームレスの自立を支援してきた立場から、菅首相の「自助」との自己責任論などを批判、命を大切にすること、命を守ることを訴えました。

各分野からのリレートークがおこなわれ、前田憲徳実行委員長が、国民投票法の強行採決許さず、立憲主義を守ろうと訴えました。

憲法を守る幅広い連帯をつくり、総選挙で市民と野党の共同と躍進めざそうとの集会アピールが採択されました。

長崎 日米共同声明で日本が最前線に、新たな任務が自衛隊に 長崎市

5月3日、「ながさき9条フェスタ」（同実行委員会主催）が長崎市桜町の県勤労福祉会館で開かれ、オンラインと併用で「ストップ改憲一守ろう9条」を訴えました。リアルな集会には100人余の人たちが参加しました。

軍事評論家の前田哲男さんがオンラインで「安保法制・憲法改正・戦争への道」と題して講演しました。日米両首脳会談・共同声明に盛り込まれた「台湾海峡の平和と安定の重要性」が「日本の防衛にとって重要な変化となる」と指摘。憲法改正が準備段階から実行段階に入っており、「日本の自衛隊には中国包囲網という新たな任務が課せられている」と危機感を示しました。

集会では、「平和主義や国民主権、基本的人権の尊重が生活の隅々まで行き渡る社会の実現を目指す」とするアピールを採択しました。集会後、鉄橋で改憲反対のスタンディング

宣伝を行いました。

佐賀 軍事費よりコロナ対策 30人が街頭宣伝 佐賀市

「くらしを守る共同行動佐賀県実行委員会」は5月3日、佐賀市の佐賀駅南交差点まちかど広場で街頭宣伝を行いました。30人が「軍事費よりコロナ対策」など、それぞれが憲法に抱く思いを記したプラカードを掲げて訴えました。

同会の武藤明美副代表は、新型コロナウイルスの収束が見通せない状況に触れて、「人が人として生きていける、暮らしを守る、命を守る。そういう社会のためにも、憲法を守らなければならない」と訴えました。永尾実高教組委員長は、「『教え子を二度と戦場に送らない』と戦争反対を貫いてきた。民主主義が大切にされる社会を子どもたちに残したい。憲法を軽んじる政権に、一刻も早くノーを突きつけよう」と発言しました。

熊本 野党各党代表が連帯あいさつ 八代憲法集会 八代市

「戦争に反対する八代の会」が主催する「2021 八代憲法集会」が5月3日、八代市で開かれました。

集会では、磯田毅立憲民主党県議、橋本徳一郎日本共産党八代市議、松永一輝社民党八代総支部幹事長が連帯あいさつしました。熊本市在住の橋本櫻さんが「輝け憲法9条」を歌いました。

沖縄 医師の柱は「非戦」、沈黙は政治的に「同意」、 那覇市

5月3日、那覇市の琉球新報ホールで沖縄県憲法普及協議会、沖縄人権協会、日本科学者会議沖縄支部が主催する第55回憲法講演会（2021 憲法講演会）が開催されました。

憲法普及協議会会長代行の加藤裕弁護士が開会あいさつで、日本政府が安保法制の下で、辺野古新基地建設や南西諸島への自衛隊配備で沖縄が最前線にされようとしている、憲法9条を掲げて、止めなければならないことを訴えました。

徳田安春医師・群星沖縄臨床研修センター長が、「基地なき平和な沖縄への道標—医師が沈黙を破るとき」と題して講演しました。徳田医師は、沖縄の基地負担を「人権問題であり、健康問題でもある」と指摘し、戦争をさせない「非戦」の声を上げ続ける重要性を語りました。聖路加病院で日野原重明医師から、医師として戦争をさせない重要性と、「戦わない『不戦』ではなく、積極的に戦いをさせない『非戦』が大切」だと学んだエピソードを語りました。また米国で銃規制にむけた医療従事者の運動を広げたドナルド・バービック医師が述べた「不正義の中での沈黙は政治的に同意を意味する」との言葉を紹介。医療従事者こそ平和活動に取り組むべきだと述べました。

米軍機の部品落下事故があった宜野湾市・緑ヶ丘保育園の保護者らでつくる「チーム緑ヶ丘1207」の宮城智子さんも登壇。「命に関わる事故がいまだに解決されない。状況が一変する行動を起こしてほしい。子どもたちが安心安全に遊び学べるようにしたい」と訴えました。

会場のホールはコロナ対策で約600席を150席に制限。講演の様子は約1週間後に動画投稿サイト「Youtube」で配信されます。

「改憲手続法」採決に抗議し、憲法守れと5月19日に声をあげよう（アピール）

本日の衆議院憲法審査会で、「改憲手続法（国民投票法）案」が、修正のうえ採決された。修正の内容は、法の施行後3年を目途に、「国民運動のための有料広告の制限（いわゆるCM規制）などについて、「検討を加えて必要な措置等を講ずる」とする内容を附則に盛りこむとするものである。

資金の多寡で、国民投票にかかわる宣伝、広告等に格差生じる不公正さは、改憲手続法の根本的な問題点の一つであり、私たちは明確の規制阻止の法制化を求めてきた。

しかし、このCM規制以外にも、最低投票率や公務員の国民投票にかかわる行為規制など、憲法改正の手続きにふさわしい内容に改めることも求める課題であった。

それらの点からして、採決の前提となった法案修正は、極めて不十分なものであり、私たちが求めてきたものに照らせば到底認められる内容ではなく、本日の衆議院憲法審査会での法案採決に厳しく抗議する。

過日の憲法記念日に、菅首相は改憲派の集会にビデオメッセージを寄せ、「憲法改正に関する議論を進める第一歩として国民投票法、改憲手続法の成立をめざす」と表明した。改憲の立場でのメッセージを首相が出すこと自体が、憲法遵守義務に反する違憲の行為である。そのメッセージは、自民党改憲4項目（自衛隊の憲法明記、緊急事態条項の明記など）での明文改憲の意欲を示したものである。

自民党幹部が「コロナのピンチをチャンス」にと、改憲への並々ならぬ意欲を表明したことや、自民党の憲法改正推進本部の最高顧問に安倍晋三氏が就任したことなどを考え併せても、コロナ危機も口実にした「安倍改憲」の動きが再び強まっていると言わざるを得ない。

菅内閣は、明文改憲への執念と同時に、開会中の通常国会に、デジタル化を口実にした市民監視法案、国外退去を強制する入管法改悪法案、厳罰化にほかならない少年法改悪法案、軍事基地、原発周辺の土地利用規制を口実に市民監視を強める重要土地利用規制法案、そして改憲手続法改悪法案、と矢継ぎばやに憲法を空洞化し、市民の権利制限を強める法案を提出し、立法による実質改憲の動きを強め、憲法をかつてない危機の淵に追いやっている。

これらの状況に危機感を持ち、コロナ無策も含め菅内閣の政治に怒りを高めている市民の力を総結集し、立憲主義、民主主義の回復を求め続けてきた「19日行動」に諸課題をもちより、要求と運動を可視化することを訴える。

菅内閣の憲法破壊を糾弾し、物言えぬ監視社会、戦争する国づくり阻止の諸要求の実現を求めて、集会、街頭宣伝、スタンディング、政府への抗議要請文、FAXの集中、署名行動など、可能な取り組みを5月19日（水）に全国一斉で起こそう。

改憲、悪法推進よりよりコロナ対策、と世論のうねりを作りだそう。

2021年5月6日

戦争させない・9条こわすな！総がかり行動実行委員会